



今井小だより

横浜市立今井小学校
令和5年9月29日
学校だより10月号

学校教育目標：かがやいている子 「自分大好き！今井大好き！」

「早くしなさい」の代わりに…

学校長 松永 史郎

「早くしなさい。」

学級担任をしていたころ、クラスの子どもたちにしょっちゅうこんな声かけをしてしまっていました。また、家庭でも我が子に対して、ついつい同じようなことを言うてしまうことがあります。

でも、よくよく考えてみると、これは子どものことを考えてのことではなくて、自分の、あるいは大人の都合で言うてしまったことが多かったのではないかと思います。

子どもたちには、ただやみくもに「早くしなさい」と急かすばかりではなく、手際よく進める良さや、そのための具体的な手立てを示すべきだったなあと今さらながら反省しています。

話は変わりますが、先日、スタジオジブリの映画「天空の城ラピュタ」に登場する海賊「ドーラ」の名言セリフ集というネット記事を読みました。その中で特に心に残ったセリフを挙げてみます。

「40秒で支度しな！！」「泣き言なんか聞きたかないね 何とかしな」「甘ったれてんじゃないよ ということは自分の力でやるもんだ」「落ち着いてやりゃあできる」……

映画の中の言葉ではありますが、厳しい中にも愛情が感じられ、ただ相手を急かすだけでなく、心を動かすヒントになるような示唆がたくさん含まれているなあと感心しました。

さらにもう1つ別の話。教職についてから、どんな仕事でもてきばきと終わらせる先輩に、その極意を聞いたことがあります。その人によると、まだ締め切りまで余裕がある仕事でも、とりあえず少しだけ取りかかってみるのだそうです。少しだけでもやってみると、その仕事にどれだけ時間や労力がかかるかの見通しがもてるから、後はその見通しのもとで、何から取りかかるか優先順位を決めて仕事を進めていけばよい……とのことでした。「なるほどねえ」と思い、(なかなかうまくいかないことが多いですが)自分も心がけるようにしています。

秋の学校は、大きな行事が続きます。先週行われた4、5年生合同の愛川宿泊体験学習、10月1日出発の6年生日光修学旅行、来月末予定の運動会「今リンピック」…その他にも遠足や校外学習等の学年行事が計画されていて、子どもたちも教職員も忙しい毎日を過ごしています。

そんなときこそ、教職員は、「早くしなさい」と言わなくても済むような手立てを工夫する必要があるのでしょうか。子どもたちが、自ら必要感をもち自主的に動けるような働きかけや声かけ、手際よく進められるような道筋を示すことが大切です。子どもたちは「大人に言われなくてもできた」と感じられる経験を積むことで、自信をつけ、後々は大人が手立てを用意しなくても、自ら見通しをもって取り組めるように成長していくのだと思います。

学校では、様々な行事が子どもたちの自信となり、成長につなげられるように心がけながら指導にあたって参ります。皆様のご支援も引き続きよろしくお願いいたします。